



2020年6月9日

2020年3月期 会社説明資料

東証第二部：9059
カンダホールディングス株式会社



-
- 一、私達は、お客様に満足されるサービスを提供し、
お客様と共に繁栄します。
 - 一、私達は、和の精神を大切にし、社員の生活向上を目指します。
 - 一、私達は、研究と創造に努め、自己改革に挑戦します。
 - 一、私達は、物流を通じて社会の発展に貢献します。



目次

Ⅰ カンダグループの概要

会社概要	5
会社沿革	6
グループ構成	7
拠点ネットワーク	8

Ⅱ 事業の概要

事業の特徴	10
物流サービスメニュー	11
取扱品目別売上高	12

Ⅲ 2020年3月期決算概要と2021年3月期の方針

2020年3月期 業績トピックス	14
連結決算推移（売上高・営業利益）	15
（経常利益・当期純利益）	16
連結決算概要（連結財務指標）	17
（連結貸借対照表）	18
（連結キャッシュフロー）	19
2021年3月期 経営方針	20
2021年3月期の見通し	21

Ⅳ 株価と配当推移

株価・配当推移	23
株価指標推移	24
優待制度と配当利回り	25

Ⅴ 事業トピックス

警備輸送事業の分社化～業務開始	27
シェアードサービス会社の設立～業務開始	28

Ⅵ ESGとBCP

ESG	30
EV（電気自動車）の試験導入開始	31
男性社員の育児休業取得の推進	32
内部統制システムの充実	33
BCP	34
新型コロナウイルスへの対策	35
安全対策	36



カンダグループの概要

事業の概要

2020年3月期決算概要と2021年3月期の方針

株価と配当推移

事業トピックス

E S G と B C P



商号	カンダホールディングス株式会社
本社所在地	〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町三丁目2番4号
創業	1943年11月
代表者	代表取締役社長 原島 藤壽
資本金	17億7,278万4千円
事業内容	グループ全体の事業活動を統括・管理する
従業員数	連結：2,280名（2020年3月末日現在）
グループ会社	27社（2020年5月末日現在）
上場区分	東京証券取引所市場第二部
証券コード	9059





創業期

1963年：出版物共同配送開始

1945年：定期路線便の構築

1944年：神田運送(株)設立

1943年：東京都神田区内の
運送会社16社の一括統合により発足

運送業から物流業へ

2009年：持株会社体制へ移行
商号をカンダホールディングス株式会社に変更

2006年：流通加工事業者(株)モリコーをグループ化

2004年：東京証券取引所市場第二部へ上場

1994年：日本証券業協会に株式を店頭登録

1991年：カンダコーポレーション(株)へ社名変更

国際物流への進出～ 総合物流企業を目指して

2020年：カンダリテールサポート(株)とカンダビズパートナー(株)
事業開始

2017年：低温輸送事業者(株)中村エンタープライズをグループ化
/ PTJAPAINDO INTERTRANS PRIMAをグループ化しインドネシア
ジャカルタの現地法人と合併

2015年：インドネシアジャカルタの駐在員事務所を現地法人化
/ 日本物流ネットワーク協会の(JLNA)発足

2014年：NVOCCであるニュースターライン(株)・ベルトランス(株)を
グループ化

2012年：NVOCCである(株)ハーバーマネージメント(現(株)ペガサスグローバル
エクスプレス)と国内流通加工業者である(株)ジェイピーエルをグループ化
/ タイバンコクに現地法人、中国上海に駐在員事務所を設立

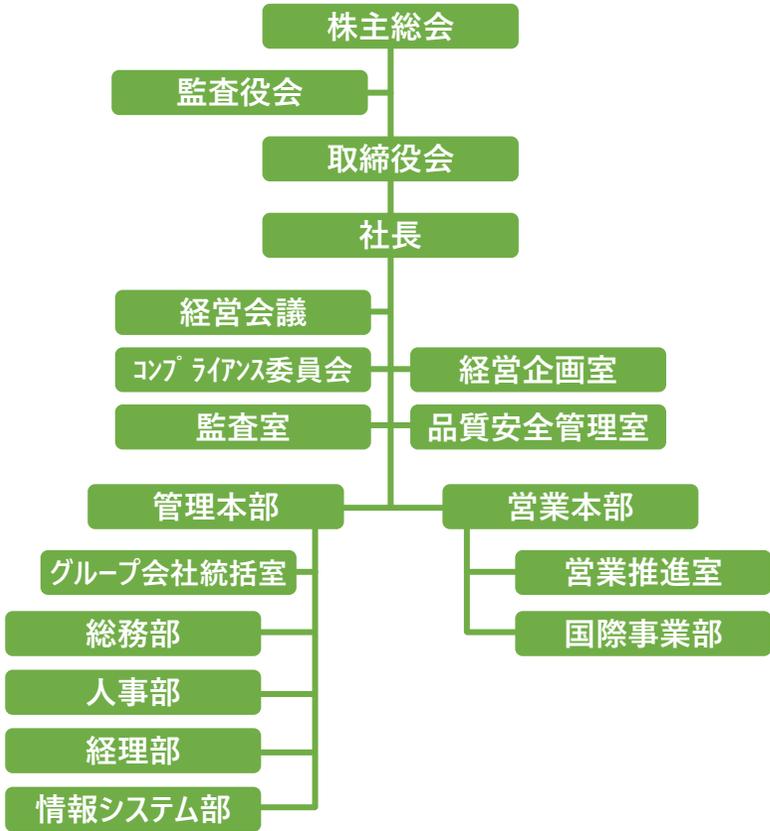
2011年：(株)ペガサスパーセルサービスより国際宅配事業部門を譲り受け
(現(株)ペガサスグローバルエクスプレス)、国際物流事業に本格的に進出



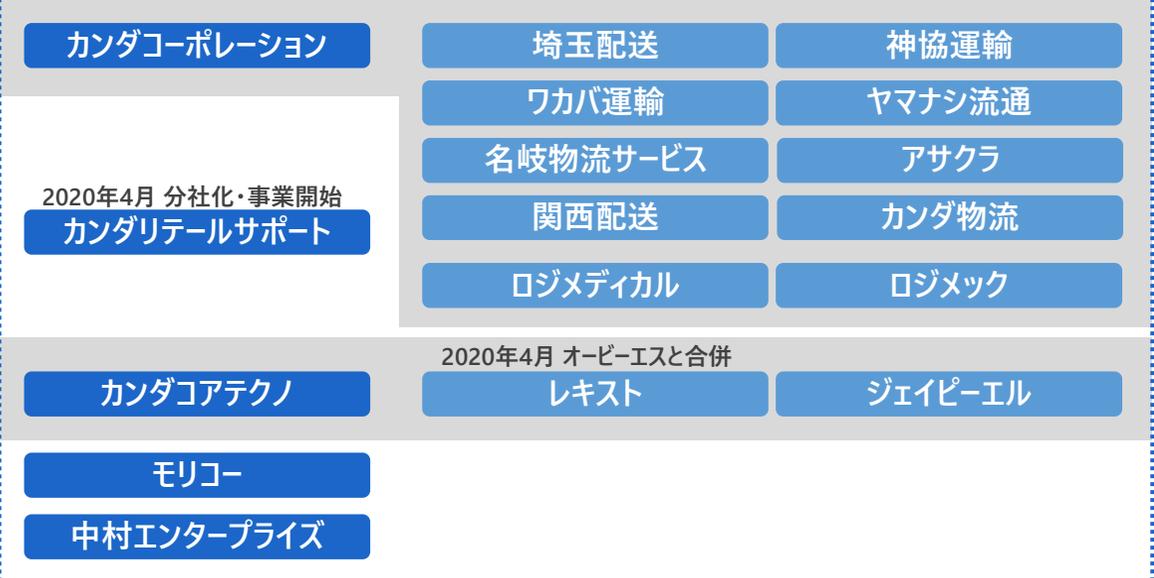


グループ構成

カンダホールディングス株式会社



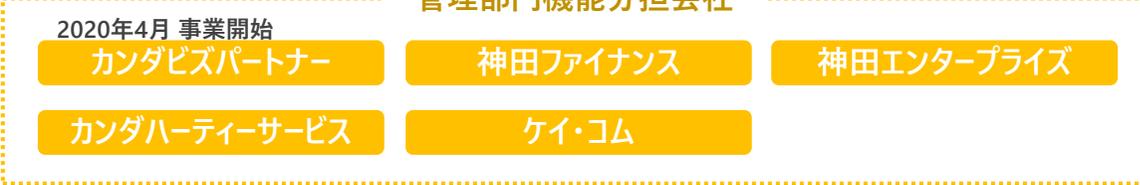
事業会社：国内物流



事業会社：国際物流



管理部門機能分担会社



2020年5月末日現在

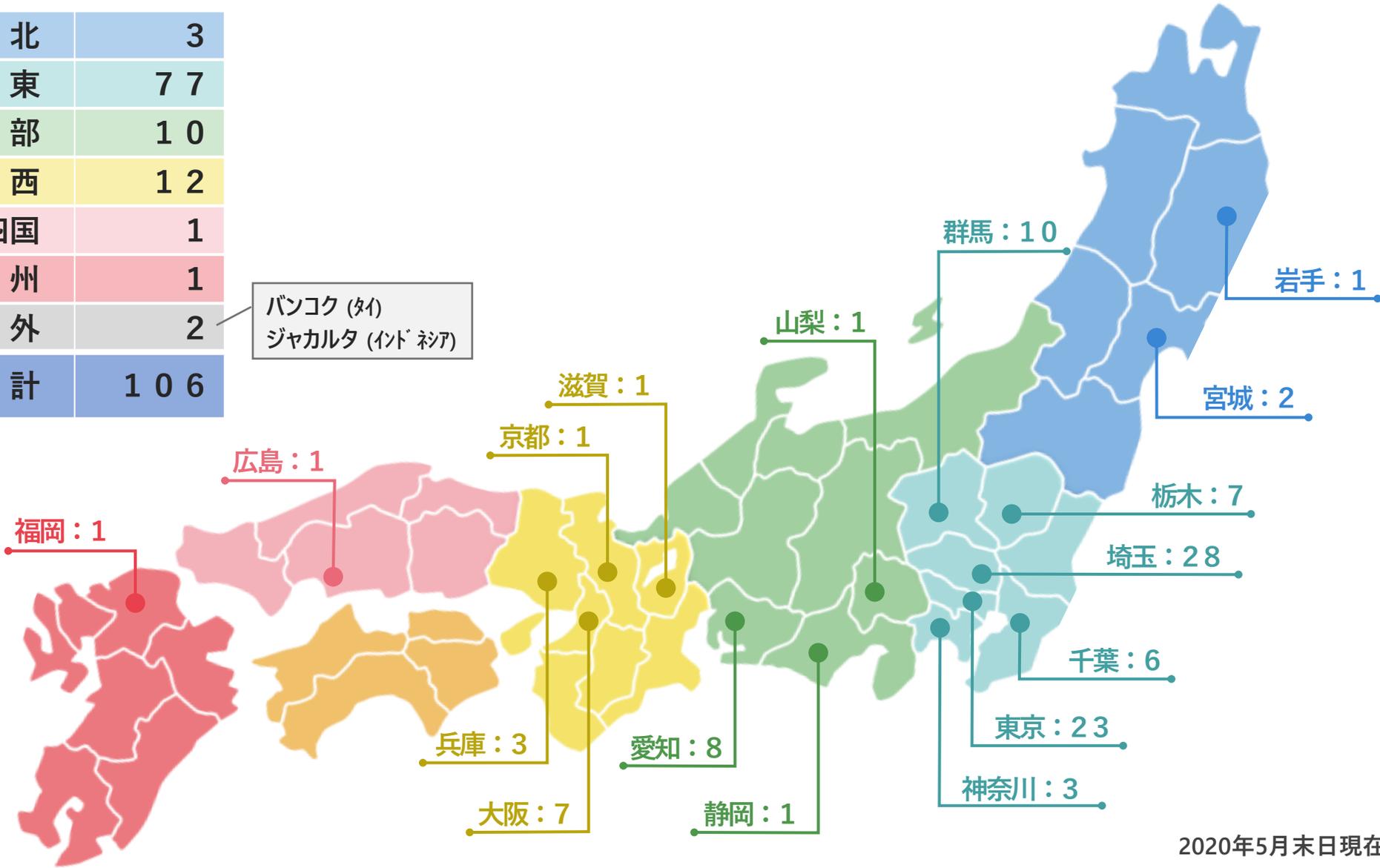


拠点ネットワーク

エリア別事業拠点数

東北	3
関東	77
中部	10
関西	12
中四国	1
九州	1
海外	2
合計	106

バンコク (タイ)
ジャカルタ (インドネシア)



2020年5月末日現在

カンダグループの概要

事業の概要

2020年3月期決算概要と2021年3月期の方針

株価と配当推移

事業トピックス

E S G と B C P



事業の特徴

■ カンダグループの4つの強み



多種多様な物流サービスを提供できる国内外グループ体制



3,500社に及ぶお客様との取引に支えられた裾野の広さ



1つの業種・業態、企業に偏らない幅広い営業基盤



国内外を一気通貫で結ぶ国際物流ネットワーク





物流サービスメニュー

国内物流 (庫内)



物流センター
(在庫型)



物流センター
(通過型)



機密文書
保管



社内メール
サービス



流通加工

国内物流 (輸配送)



共同配送



警備輸送
(集配金)



ルート配送



冷凍冷蔵
輸送



化学薬品
輸送



建築資材
運搬



廃棄物
収集運搬



介護・介助
輸送



バイク便



引越し
事務所移転

国際物流



国際宅配



航空輸送



海上輸送



越境 E C



現地法人

情報システム



W M S



WEB受発注
システム

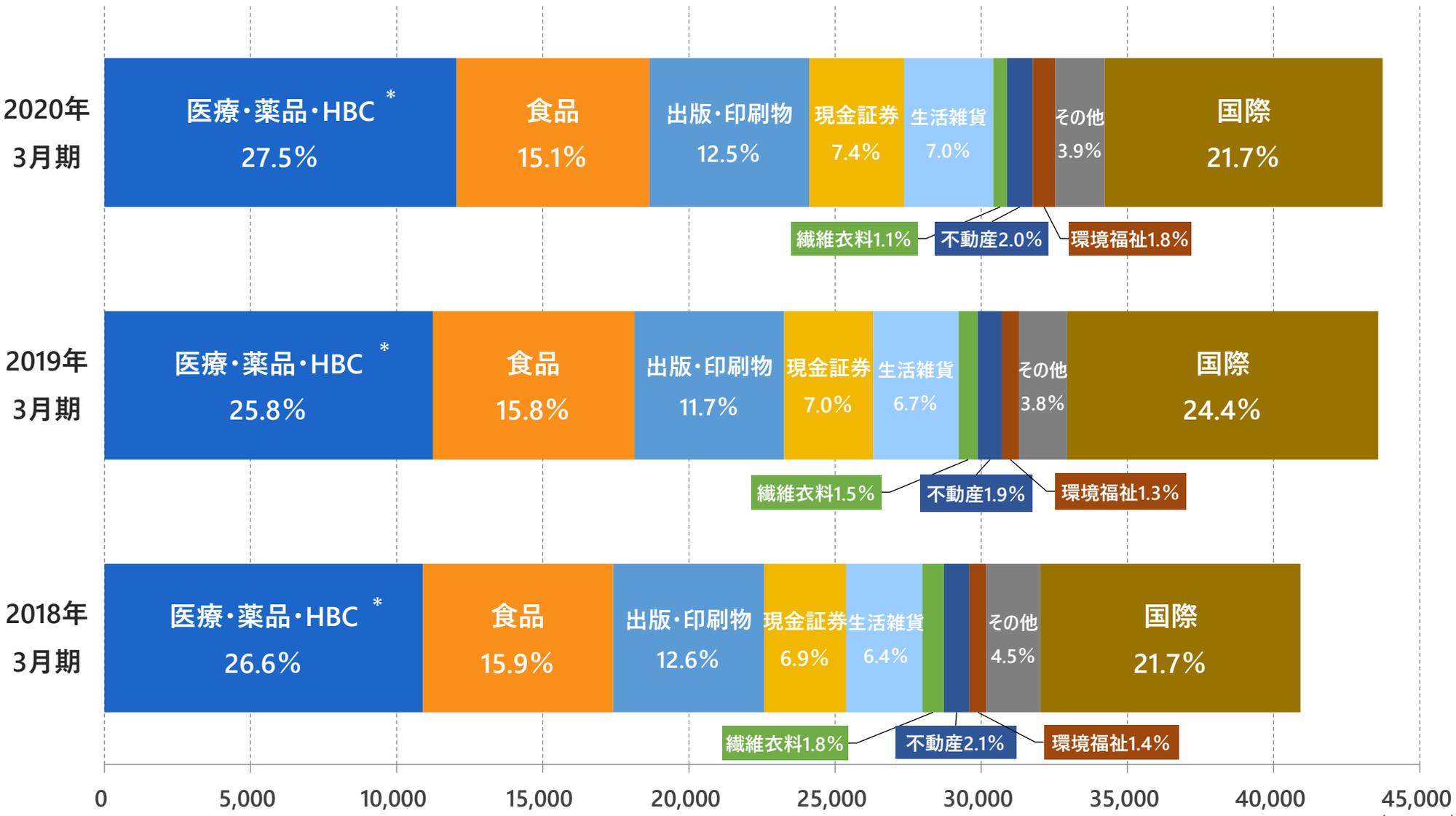


データセンター



取扱品目別売上高

取扱品目別売上高と構成比率



* HBC ... Health & Beauty Care の略称で健康食品や美容品などが含まれます

カンダグループの概要

事業の概要

2020年3月期決算概要と2021年3月期の方針

株価と配当推移

事業トピックス

E S G と B C P



■ セグメント別業績

単位：百万円

	連結	セグメント別			
		貨物自動車運送事業	国際物流事業	不動産事業	その他*
売上高	43,736	33,181	9,511	876	167
		注) セグメント別売上高は、セグメント間の内部売上高及び振替高を差し引いた金額となります。			
前期比	+0.4%	+3.9%	△10.6%	+4.7%	△4.0%
営業利益	1,744	1,922	167	534	85
		注) セグメント別利益は全社に係る管理部門費用（966百万円）が含まれた金額となります。			
前期比	+11.3%	+16.2%	△33.6%	+3.0%	△3.1%

*「その他」セグメント：太陽光発電業、コンピューターソフト開発業、保険代理店業、リース業、部品販売業、清掃業の総額です。

売上高

国内：人手不足、長時間労働対応など物流を取り巻く厳しい環境の中、収益構造の改善が業績に寄与し増収
 国際：米中貿易摩擦及び4Qにおける新型コロナウイルスの世界的な影響により取扱貨物量が減少し減収

利益

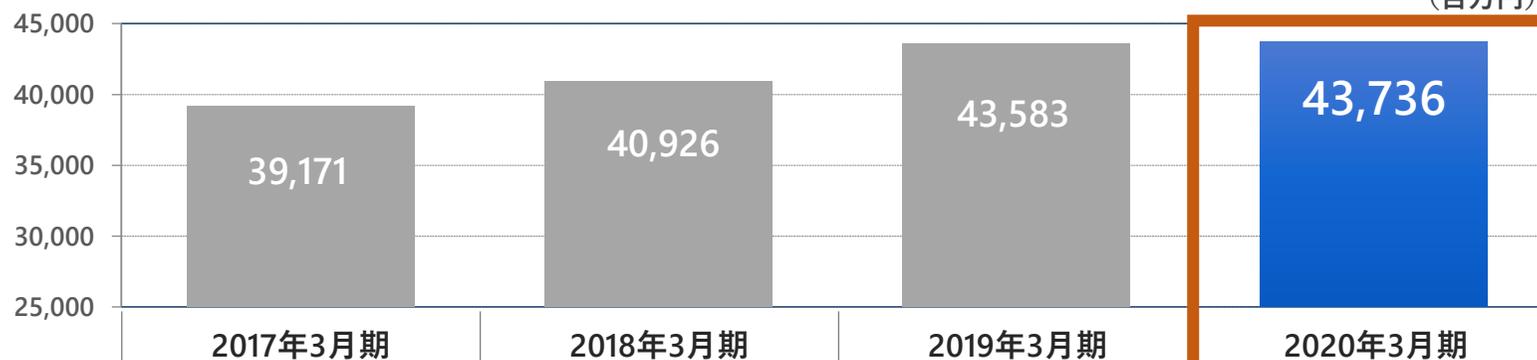
国内：業績改善運動の効果、のれん償却、前期の物流センター立ち上げ費用が無くなったこと等により増益
 国際：売上高同様、米中貿易摩擦及び4Qにおける新型コロナウイルスの影響により取扱貨物量が減少し減益



連結決算推移

売上高

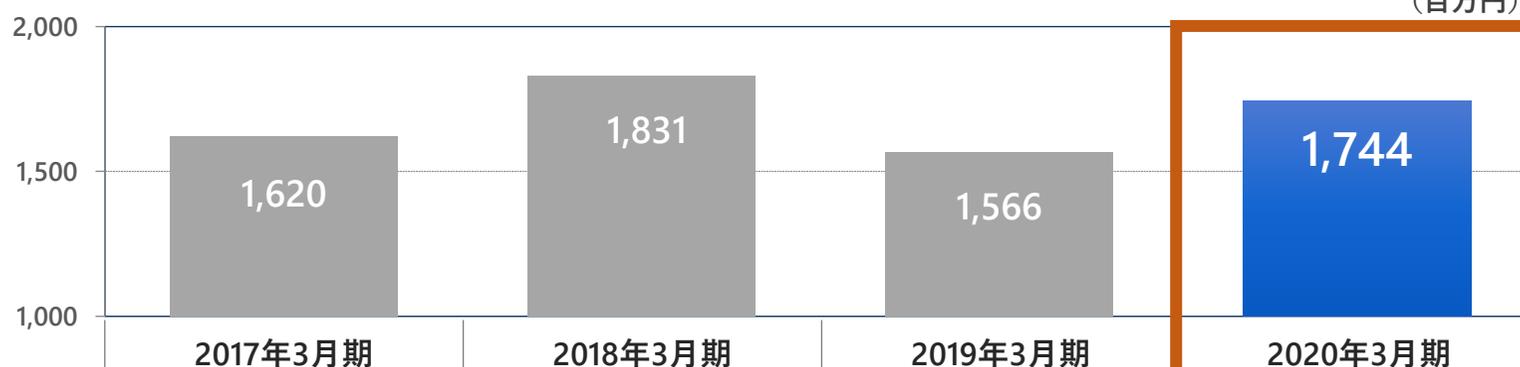
(百万円)



連結	売上高	39,171	40,926	43,583	43,736
	前期比	+6.2%	+4.5%	+6.5%	+0.4%

営業利益

(百万円)



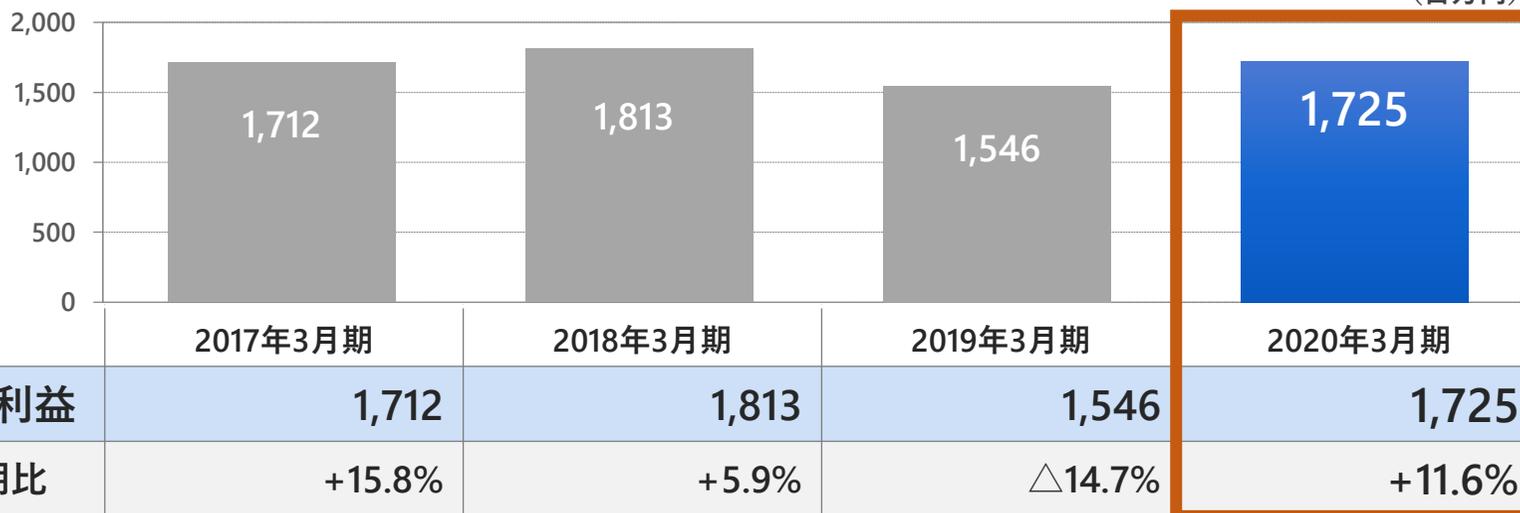
連結	営業利益	1,620	1,831	1,566	1,744
	前期比	+7.4%	+13.0%	△14.5%	+11.3%



連結決算推移

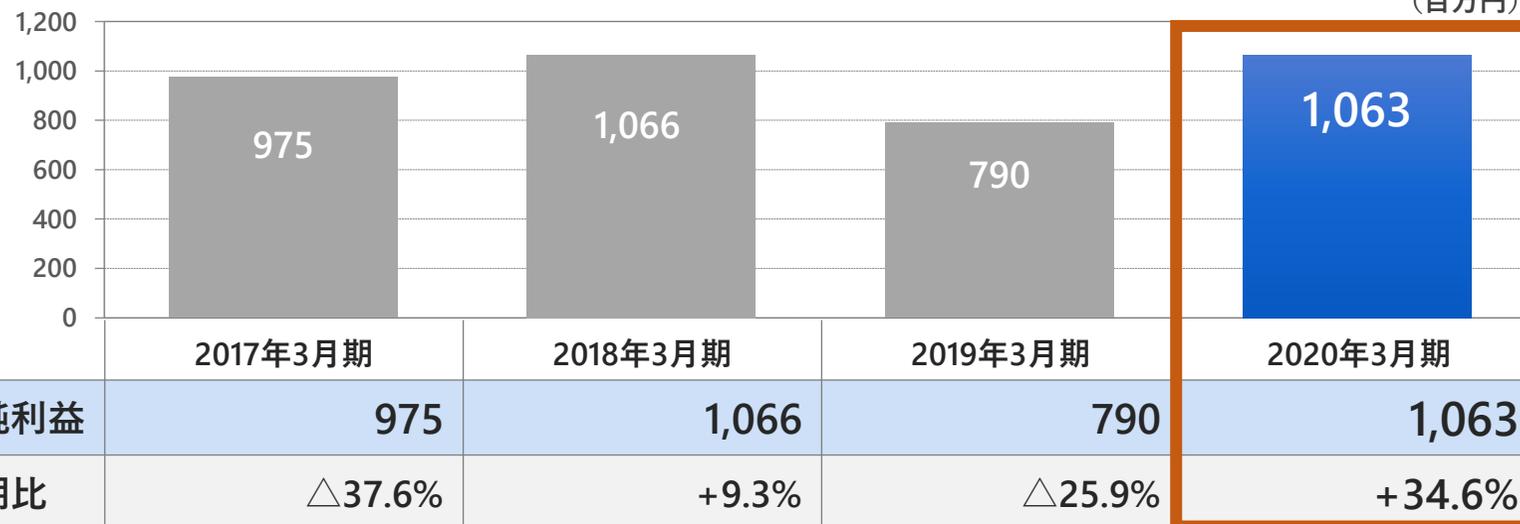
■ 経常利益

(百万円)



■ 当期純利益

(百万円)





■ 連結財務指標

改善 横ばい 悪化

	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	
総資産 (百万円)	35,985	36,441	39,384	39,487	39,562	
純資産 (百万円)	14,752	15,531	16,477	17,003	17,798	
1株あたり純資産 (BPS) (円)	1,366.8	1,440.2	1,526.3	1,575.1	1,650.1	
1株あたり当期純利益 (EPS) (円)	145.26	90.63	99.10	73.41	98.84	
自己資本比率 (%)	40.9	42.5	41.7	42.9	44.9	
自己資本利益率 (ROE) (%)	11.2	6.5	6.7	4.7	6.1	
総資産経常利益率 (%)	4.0	4.7	4.8	3.9	4.4	
売上高営業利益率 (%)	4.1	4.1	4.5	3.6	4.0	
売上高経常利益率 (%)	4.0	4.4	4.4	3.5	3.9	
負債資本倍率 (D/Eレシオ) (倍)	0.59	0.53	0.59	0.58	0.49	
有利子負債 (百万円)	8,681	8,284	9,690	9,783	8,635	
債務償還年数 (年)	4.4	2.8	4.4	3.8	2.9	



■ 連結貸借対照表

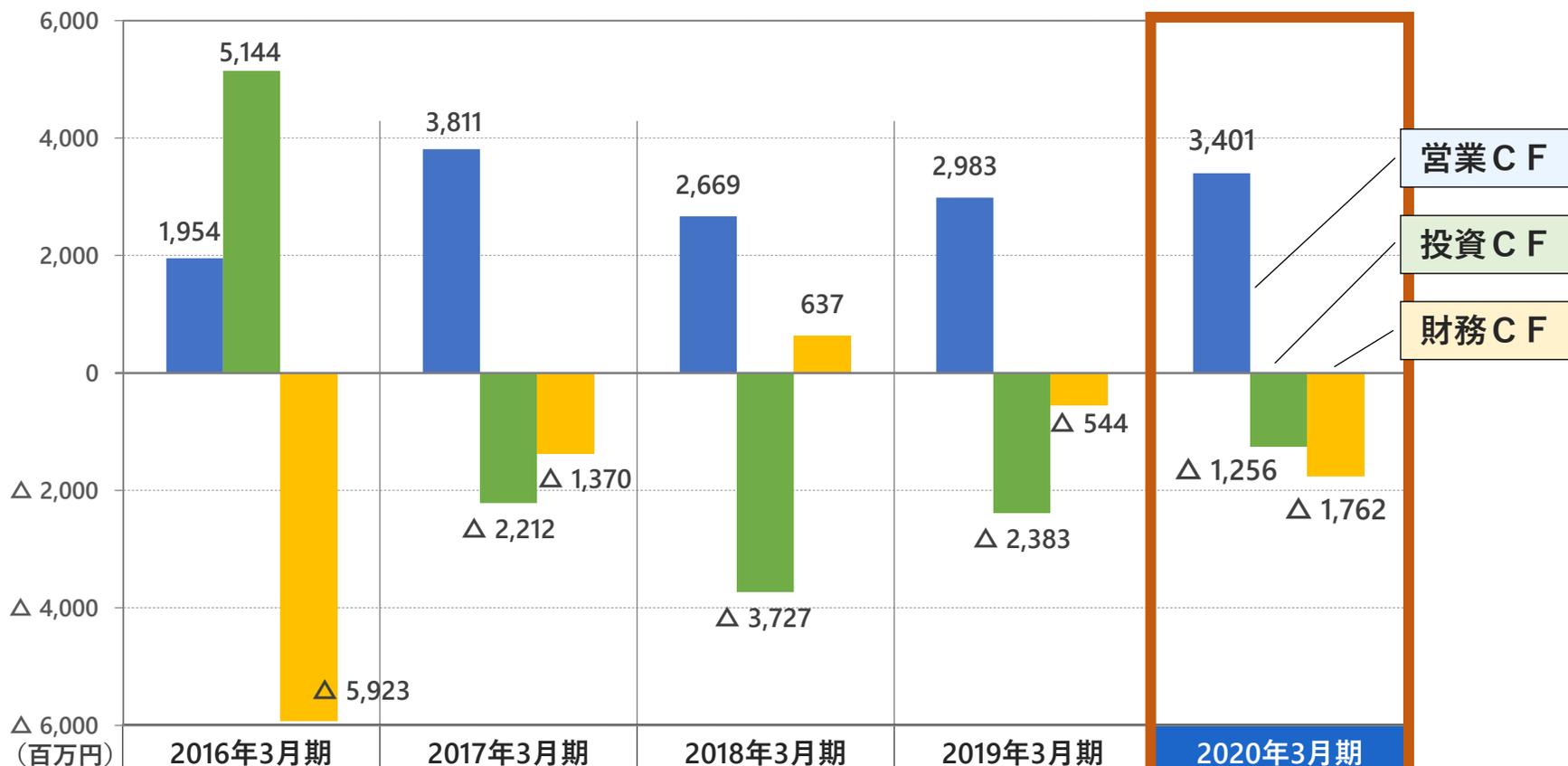
単位：百万円

		2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
	流動資産	13,589	13,103	13,583	13,247	13,324
	固定資産	22,396	23,337	25,801	26,239	26,238
	資産合計	35,985	36,441	39,384	39,487	39,562
	流動負債	12,379	10,786	12,232	13,049	12,448
	固定負債	8,854	10,123	10,674	9,434	9,315
	負債合計	21,233	20,909	22,906	22,483	21,764
純資産合計		14,752	15,531	16,477	17,003	17,798
負債・純資産の合計		35,985	36,441	39,384	39,487	39,562



連結決算概要

■ 連結キャッシュフロー



	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
営業CF	1,954	3,811	2,669	2,983	3,401
投資CF	5,144	△2,212	△3,727	△2,383	△1,256
財務CF	△5,923	△1,370	637	△544	△1,762



～ 変化に対応し、未来へ挑戦しよう ～

『変化の時は行動の時』状況の変化を的確に捉えて前向きに行動していこう

1. コンプライアンスの遵守

■ 働き方改革への対応 ■ 内部統制システムの充実

2. 利益の確保

■ 全店所の黒字化 ■ 空きスペースの満床化 ■ 適正な利益の追求

3. 新規業務の獲得

■ 新規顧客の獲得を推進 ■ グループ会社間の連携強化 ■ M & Aの推進

4. 交通事故、労災事故の防止

■ 安全対策機器（IT点呼カメラ、ドラレコ、デジタコ等）の有効活用

5. その他

■ 先端技術実装化の推進

業績予想

- ▶ 現時点での業績予想につきましては、新型コロナウイルスの業績への影響を適正かつ合理的に算定することが困難なことから未定とさせて頂き、業績予想の開示が可能となった段階で速やかに公表いたします。

新規業務

- ▶ **【4月】** 大手総合スーパー様から受託したネットスーパー業務が一部店舗より稼働を開始しております。神奈川県店舗を皮切りに関東圏内で順次拡大の予定。店舗での梱包から宅配までのサービスをご提供。
- ▶ **【7月】** 警備輸送業を分社化し設立したカンダリテールサポートにおいて新たなサービスの提供を開始いたします。メーカーと共同開発した金庫型紙幣入金機「CASHNET♡BOX」(特許出願中)の正式リリースに向け準備を進めております。
- ▶ **【10月】** 既存顧客であるチェーンドラッグストア様向けの新たな物流センターが本格稼働いたします。新たに賃借した埼玉県物流施設において、庫内オペレーション及び店舗配送サービスを提供するべく準備を進めております。

※上記は、荷主様との間、また社内で決定となった事項について記載したものです。一部を除き計画準備の段階であり、業務の開始及びその開始時期や継続性について保証するものではありません。



ネットスーパー業務 (イメージ)



金庫型入金機 CASHNET♡BOX



10月本格稼働 新物流センター

カンダグループの概要

事業の概要

2020年3月期決算概要と2021年3月期の方針

株価と配当推移

事業トピックス

E S G と B C P

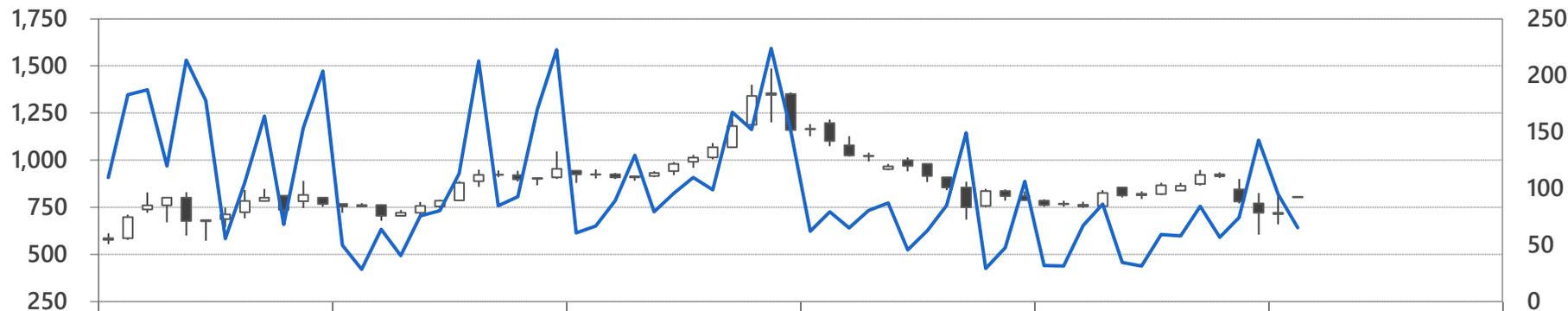


株価・配当推移

■ 株価・出来高

左軸：株価チャート（円）

右軸：— 出来高（千株）

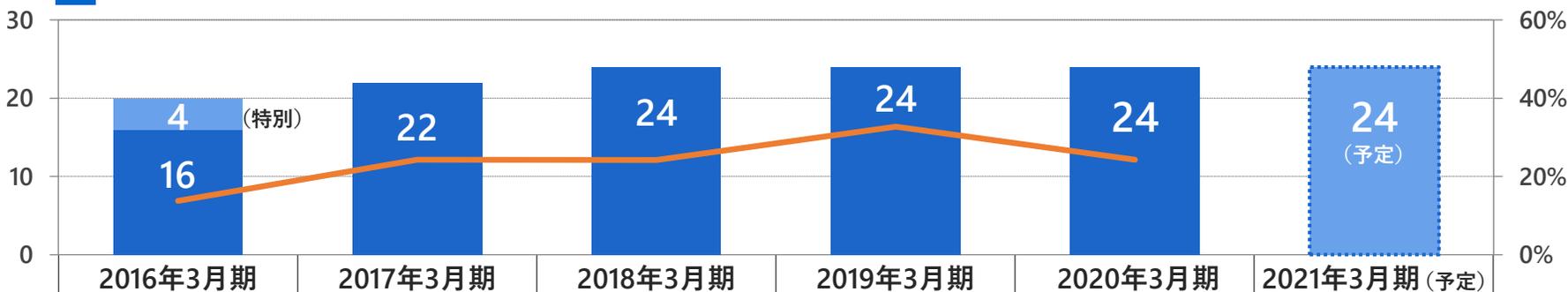


	2016年3月	2017年3月	2018年3月	2019年3月	2020年3月	2020年6月8日
株価（終値）	767円	953円	1,160円	787円	721円	802円

■ 配当・配当性向

左軸：■ 1株あたり年間配当（円）

右軸：— 配当性向（%）



	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期（予定）
年間配当/株	16円 + 4円(特別)	22円	24円	24円	24円	24円
配当性向	13.8%	24.3%	24.2%	32.7%	24.3%	-

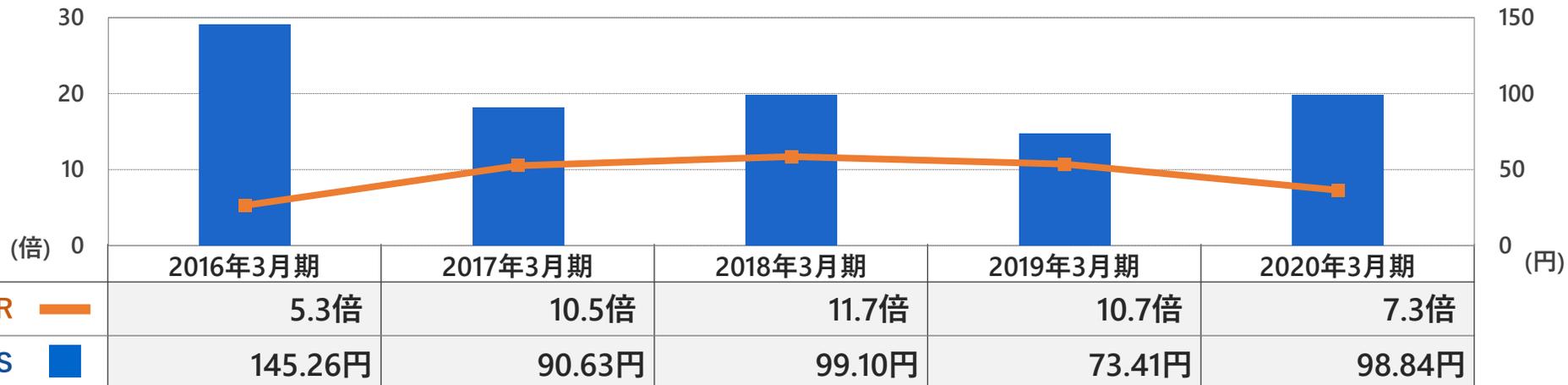


株価指標推移

PER・EPS

左軸： PER (株価収益率)

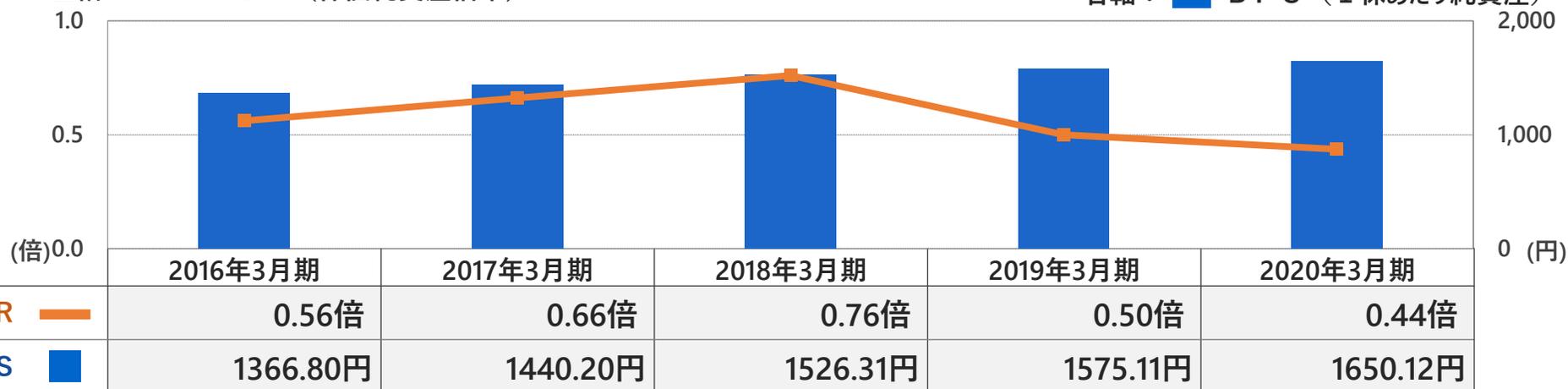
右軸： EPS (1株あたり純利益)



PBR・BPS

左軸： PBR (株価純資産倍率)

右軸： BPS (1株あたり純資産)



優待制度と配当利回り

株主優待制度

保有株式数	株主優待
100株以上	図書カード 1,000円分
500株以上	図書カード 2,000円分
1,000株以上	図書カード 3,000円分
2,000株以上	図書カード 4,000円分
3,000株以上	図書カード 5,000円分

対象：毎年3月31日現在の株主名簿に記載された100株以上保有の株主様



配当利回り

【配当利回り計算】

単元株100株を、株価 802円 で購入頂くと... ※2020年6月8日終値

配当2,400円 + 株主優待1,000円 ▶ 実質配当金額3,400円 **配当利回り 4.24%**

自己株式取得状況

2020年3月末時点の自己株式は891,474株（総発行株式に占める割合：7.6%）となっております。

カンダグループの概要

事業の概要

2020年3月期決算概要と2021年3月期の方針

株価と配当推移

事業トピックス

E S G と B C P

■ 2019年11月に設立したカンダリテールサポート(株)が本年4月より業務を開始いたしました。



K カンダリテールサポート

【会社概要】

商号	カンダリテールサポート株式会社
所在地	東京都千代田区神田三崎町三丁目2番4号
代表者	代表取締役社長 五十嵐 賢介
事業内容	警備輸送事業
設立	2019年11月1日（2020年4月1日事業開始）
資本金	8,000万円

- 新開発 金庫型紙幣入金機「CASHNET♡BOX」リリース -



【上段】 紙幣入金機を搭載
売上金の内、紙幣を入金して頂きます。
紙幣は必要に応じた頻度で集金いたします。

【下段】 金庫
売上金の内、主に硬貨を格納するための金庫です。
こちらは店舗様をご自由にお使い頂けます。

- ・メーカーと共同開発した金庫型紙幣入金機(特許出願中)をリリースいたします。
- ・入金した紙幣の情報は金庫内の現金管理システムに反映され、オンライン方式をお選び頂くと、翌銀行営業日には紙幣売上分がお客様口座に振り込まれます。
- ・従来型の入金機に比べて安価であり、人員不足やセキュリティ面から銀行ATMや夜間金庫の利用が難しい店舗様においてローコストでの運用が可能です。
- ・現在、靴専門店チェーン様の1店舗で試用中であり、7月の正式リリースに向けて準備を進めております。

▷ 分社化することにより意思決定の迅速化を図り、業務水準の向上・高品質なセキュリティレベルの確保、競争力のあるサービスの開発・提供を積極的に推進してまいります。



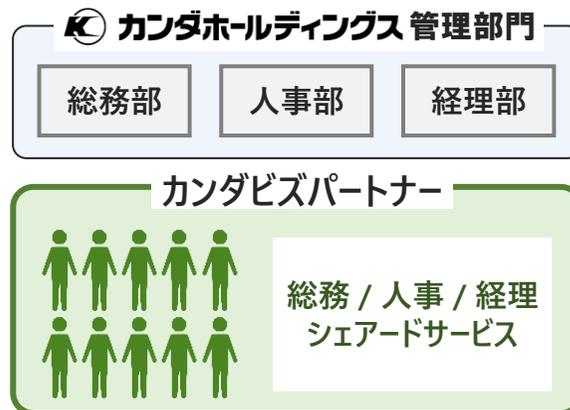
シェアードサービス会社の設立～業務開始

■ 2019年11月に設立したカンダビズパートナー(株)が本年4月より業務を開始いたしました。

【 設立前 】



【 設立後 】



- ・ 制度改正や業務改革に注力
- ・ 経費使用の透明性を確保
- ・ 管理コストの削減

- ・ 事務処理の効率化
- ・ 従業員の多能工化
- ・ 事務コストの削減
- ・ 柔軟な勤務体系の確立



【 会社概要 】

商 号	カンダビズパートナー株式会社
所 在 地	東京都千代田区神田三崎町三丁目 2 番 4 号
代 表 者	代表取締役社長 江文 順一
事 業 内 容	事務代行業
設 立	2019年11月1日 (2020年4月1日事業開始)
資 本 金	1,000万円

- ▷ グループ各社の管理部門（総務・人事・経理）業務を集約し、事務処理機能の向上と効率的な運用、またテレワークや時差勤務など柔軟な勤務体系の確立を目指してまいります。
- ▷ 今後はより多くのグループ会社の事務作業を集約することで、更なる業務の効率化を図ってまいります。

カンダグループの概要

事業の概要

2020年3月期決算概要と2021年3月期の方針

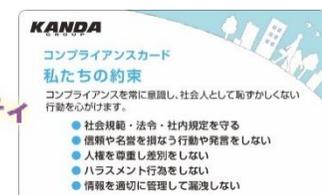
株価と配当推移

事業トピックス

E S G と B C P



■ 物流事業を通じて社会の課題解決へ向けた活動を推進してまいります。



環境【Environment】

- ・低燃費車への代替及びE V車試験導入
- ・物流施設の屋根を利用した太陽光発電
- ・低炭素型本社ビルの竣工
- ・グリーンエコプロジェクトへの参画

社会【Social】

- ・特例子会社による障がい者雇用促進
- ・地域貢献活動の推進
- ・女性管理職の登用拡大
- ・事業所内保育施設の開園 (2ヶ所)

企業統治【Governance】

- ・内部統制 (会社法、J-SOX等) 強化
- ・コーポレートガバナンス・ガイドラインの策定
- ・監査項目の刷新
- ・ISO27001の認証取得



環境：EV（電気自動車）の試験導入開始

■ 環境負荷の低減を目指して2020年1月よりEV（電気自動車）7台の試験導入を開始しました。



- ・ 近距離の小口配送業務など、電気自動車の特性を考慮した運送業務に活用してまいります。
- ・ 従来のディーゼル車と比較して騒音や振動が少ないことからドライバーの精神的・身体的な負担も軽減され、労働環境のさらなる改善にも期待しております。



- ・ CVSへの出版物配送
- ・ 拠点近隣の雑貨配送



- ・ 営業車/送迎車
- ・ 狭路沿いの店舗配送

- ▷ ドライバー不足、労働環境改善、地球温暖化対策など重要な課題解決への一歩であると考えております。
- ▷ グループ全体のハイブリッドも含めた環境配慮型車両の台数は計18台となっております。（2020年3月末日現在）



社会：男性社員の育児休業取得の推進

働きやすい職場作りに向けて男性社員の育児休業取得を推進してまいります。



行動計画（主事業会社：カンダコーポレーション(株)）

社員がその能力を発揮し、仕事と生活の調和を図り働きやすい雇用環境の整備を行うため行動計画を策定する。

1 計画期間

2020年4月1日～
2025年3月31日

2 当社の課題

- ① 男性社員の育児休業取得率が少ない
- ② 育児休業後の社会復帰がしにくい

3 目標 1

育児休業取得率を5%以上にする

<取組内容>

2020年7月～ 男性も育児休業を取得できることを周知するため管理職を対象とした研修を実施し、対象社員を把握した場合は、制度の周知を行うようにする。

2022年1月～ 育児休業の取得希望者を対象とした講習会の実施

2024年2月～ 取得状況の確認

目標 2

休業中の社員に対して資料送付等による情報提供を行う制度を導入する

<取組内容>

2020年10月～ 新制度についての管理職を対象とした研修を年2回実施

2022年5月～ 社内広報誌を活用した周知・啓発の実施

2024年6月～ 実施状況の確認を行う

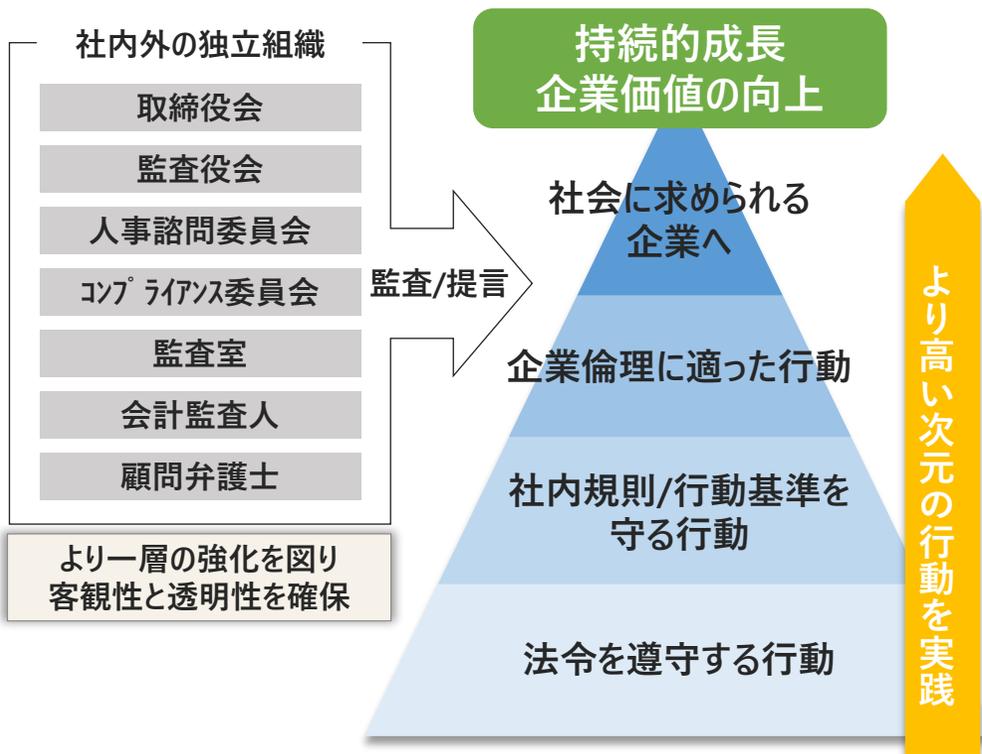
- ▷ 育児休業に対する職場の理解を深めるため管理職を中心とした育休推進研修を実施しております。
- ▷ 制度を作るだけでなく、実際に育児休業を取得しやすい職場環境を整備してまいります。



企業統治：内部統制システムの充実

■ 持続的成長と中長期的な企業価値の向上を目指し、内部統制システムの充実を図ります。

－ 内部統制システムの充実による企業成長イメージ －



－ 行動基準項目 －

お客様の尊重	利益と法の関係	独占禁止法・下請法の遵守
接待・贈答の範囲	情報開示	インサイダー取引の禁止
反社会的勢力との関係遮断	環境保全	社会貢献
地域社会との係り	人間の尊重	ハラスメントの禁止
会社情報・財産の尊重	利益相反行為の禁止	職場環境の確保

社会的に存在意義のある企業として社会に貢献し、社会からの信頼と尊敬を得られるよう高い倫理観を持って行動する

－ コンプライアンスカード －

KANDA

コンプライアンスカード

私たちの約束

コンプライアンスを常に意識し、社会人として恥ずかしくない行動を心がけます。

- 社会規範・法令・社内規定を守る
- 信頼や名誉を損なう行動や発言をしない
- 人権を尊重し差別をしない
- ハラスメント行為をしない
- 情報を適切に管理して漏洩しない

コンプライアンス通報・相談窓口

※電話受付は社内/社外共に平日の午前9時～午後5時

● 社内通報窓口

電話：03-
メール：s@kanda-web.co.jp
手紙：〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町3-2-4
カンダホールディングス 株式会社 コンプライアンス委員会 宛

● 社外(弁護士)通報窓口

電話：03-
メール：kanda@.com
手紙：〒102- 東京都千代田区
法律事務所 弁護士 宛

上司や周囲の人に相談できない場合、安心して各窓口にご相談ください。

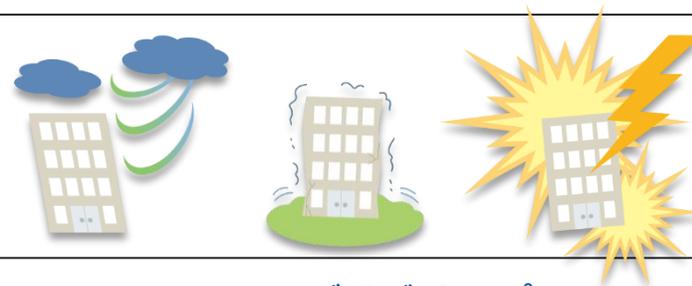
内部通報の活性化を目指し全従業員に配布

- ▷ 従業員がより高い次元の行動を实践できるよう、コンプライアンス研修の開催や社内啓蒙活動を行っております。
- ▷ 社内、社外監査の強化や社内規則の厳格化など内部統制システムの充実を図ってまいります。

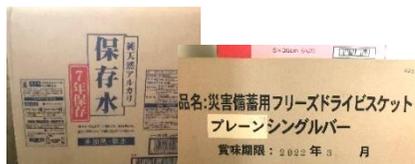
災害への備え

【基本方針】

- ・ 従業員とその家族の安全・安心を最優先に活動します。
- ・ 施設、設備についての予防措置及び支援物資の確保を行います。
- ・ 事業存続及び早期復旧を目指した体制を確立します。
- ・ 地域社会の一員として貢献します。
- ・ 従業員の定期的な教育訓練と計画の定期的な見直しを行います。



食料・飲料水の備蓄



災害対策本部となる本社事務所では本社従業員数の5日分にあたる食料・飲料水を備蓄しております。

燃料確保



インタンクに燃料を備蓄している他、提携企業と燃料の優先供給に関する協定を締結しております。

データバックアップ



情報資産を守るため、データのバックアップセンターを関東地区に設置しております。

緊急時連絡体制



電話回線が不通になる事態に備え、全国13の営業所に衛星携帯電話を設置しております。

非常用自家発電設備



停電等のリスクを鑑みて一部の物流施設では非常用自家発電設備を設置しております。

高耐震施設



災害対策本部となる本社ビル及び自社物流施設では、建築基準法の規定を上回る耐震性能で建築しております。

▶ 予想される重大な災害等（自然災害・感染症等）により甚大な被害が発生した場合においても、物流サービスの継続的な提供により社会貢献を行うことを目的として『BCP基本方針』を定め『事業継続計画』を策定しております。



新型コロナウイルスへの対策

■ コロナ禍における当社の社会的使命

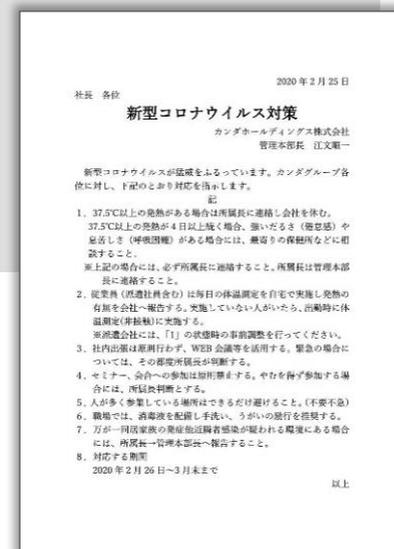
物流は重要な社会インフラである

物流とは社会経済活動を支える重要なインフラであり、特に医薬品や食料品など生活に欠かせない荷物の取り扱いが多い当社においては、「物流を止めないこと」こそが果たすべき使命であると考えております。

このコロナ禍においても、お客様、従業員、荷物の安全に十分配慮した上で日夜企業活動を継続してまいります。

■ 感染の予防、拡大防止に向けた取り組み

- ・ 感染拡大が見られた2月の段階でグループ全社に対し新型コロナウイルスへの対策及び対応について通達
- ・ マスクが不足している営業所に対し一括購入して送付
- ・ グループ全従業員に家庭での使用を目的としたマスク（1箱50枚入り）を無償配布
- ・ 物流センター、営業所におけるエリア除菌用に業務用塩素系消毒薬を購入し主要拠点にてストック
- ・ 出勤時の検温及び手洗いうがいの徹底と、作業場、トラック運転席の定期消毒を実施
- ・ 出張、10名以上が出席する会議、訪問及び来訪の原則禁止
- ・ WEB会議システムの活用とテレワーク制度の導入





■ 安全と生命はすべてに優先する 「交通事故」や「労働災害」の発生防止

■ 2020年度スローガン

『安全は自分自身の心掛け！
安心は相手を気遣う思いやり！』

■ 2020年度安全対策費用

予算) 8,100万円 (昨年度実績 7,500万円)

■ 2020年度活動予定 (一部抜粋)

- ・ Gマーク認証の新規、継続取得 (全39事業所中、36事業所で認定)
- ・ 社内ライセンス「セーフティアドバイザー」の養成
- ・ 安全講習会の実施
- ・ 初任者向け実車研修 (足利教育研修所)
- ・ 新型ドライブレコーダーを活用した安全教育の実施
- ・ クラウド型デジタルタコグラフへの機種変更拡大
- ・ 点呼確認カメラを車両保有全事業所に導入設置
- ・ ドライブシュミレーターを活用した危険運転体験講習実施
- ・ アルコール測定連動型免許リーダーを全事業所に導入



■ 社内研修施設においてフォークリフト運転技能講習の開始

足利教育研修所では、新任ドライバーへのトラック実車研修機能に加えて、2019年10月にフォークリフト運転技能講習施設として登録したことで、従業員に向けた技能講習の実施と終了証の発行が可能となりました。

登録日/番号	2019年10月3日 / 登録番号：栃基登220号
教習機関名	(株)神田エンタープライズ (足利教育研修所)
所在地	栃木県足利市島田町604
代表者	代表取締役社長 江文 順一
登録技能講習	フォークリフト運転技能講習



本資料は、投資判断のご参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資への勧誘を目的としたものではありません。

記載されている内容は、資料作成時点の当社の判断に基づくものであります。

従いまして、将来の計画数値や施策の実現等の記載された内容を確認したり保証するものではなく、実際の業績は当社を取巻く様々なリスク及び不確実性により、これら見通しとは異なる結果をもたらすことがあることをご承知おきください。

また、本資料に記載されている当社及び当社グループ以外の企業等にかかわる情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等について当社はこれを保証するものではありません。



お問合せ先：カンダホールディングス株式会社 総務部株式課

電話：03-6327-1811(代) FAX：03-6327-1800

ホームページ：<https://kanda-web.co.jp/>

e-mail：hd-soumu@kanda-web.co.jp